

# アクセス ポイント ウェブブラウザインターフェイス脆弱性

severity アドバイザリーID : cisco-sa-[CVE-20060628-ap](#)  
初公開日 : 2006-06-28 17:00 [2006-3291](#)  
バージョン 1.2 : Final  
回避策 : [Yes](#)  
Cisco バグ ID : [CSCsd67403](#) ,  
[CSCsf18032](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

## 概要

Ciscoアクセスポイントおよび Cisco 3200 シリーズ ワイヤレス モービル インターフェイス カード (WMIC) のための Cisco ウェブブラウザインターフェイスは、管理されたアクセス アクセス・ポイントから、特定の状況下でデフォルト セキュリティとコンフィギュレーションを取除き、管理上のユーザ 資格情報の検証なしで管理アクセスを許可する可能性がある脆弱性が含まれています。

シスコでは、該当するお客様用に、この脆弱性に対応する無償ソフトウェアを提供しております。利用可能な回避策がこの脆弱性の効果を軽減するためにあります。

このアドバイザリーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20060628-ap> で掲示されます。

## 該当製品

### 修正済みソフトウェア

次のアクセス ポイントは Cisco IOS<sup>Å</sup>® ソフトウェア リリース 12.3(8)JA を実行して、12.3(8)JA1 か 12.3(8)JK がインタフェース管理のためにおよび設定される場合影響を受けています:

- 350 のワイヤレスアクセスポイントおよびワイヤレスブリッジ
- 1100 のワイヤレスアクセスポイント
- 1130 のワイヤレスアクセスポイント

- 1200 のワイヤレスアクセスポイント
- 1240 のワイヤレスアクセスポイント
- 1310 ワイヤレスブリッジ
- 1410 のワイヤレスアクセスポイント
- Cisco 3200 シリーズ ワイヤレス モービル インターフェイス カード ( WMIC )

インタフェース管理がデバイスへの Cisco アクセスポイントで、ログイン確認し有効になった、**提示 ip http server status コマンド**を発行するためかどうか。出力が**有効に**されるように HTTPサーバ *http* セキュアサーバ ステータスを表示したもので場合、インタフェース管理は有効になります。例は有効になるインタフェース管理と下記に示されています:

```
ap#show ip http server status
    HTTP server status: Enabled
    HTTP server port: 80
[...lines removed...]
    HTTP secure server status: Disabled
    HTTP secure server port: 443
[...lines removed...]
```

インタフェース管理 ( HTTPサーバ ) はデフォルトで有効になります。

アクセスポイントで動作する Cisco IOS のバージョンをチェックするため:

- **ブラウザによって—システム ソフトウェア メニュー**をクリックして下さい。Cisco IOS ソフトウェア バージョンはシステムソフトウェアバージョンフィールドで表示する。
- **Command Line Interface ( CLI ) によって—デバイスへの Cisco アクセスポイント、ログインで動作するソフトウェアを判別し、システムバナーを表示する show version コマンド**を発行するため。

Cisco IOS ソフトウェアは「Internetwork Operating System Software」または単に「IOS」と表示されます。

出力の次の行には、カッコに囲まれたイメージ名が表示され、その後にバージョンと Cisco IOS リリース名が続きます。その他の Cisco デバイスには **show version** コマンドがないか、異なる出力が返されます。

次の例は C1200-K9W7-M のインストール済みイメージ名前と Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.3(7)JA1 を実行する Cisco アクセスポイントを特定したものです:

```
ap#show version
Cisco IOS Software, C1200 Software (C1200-K9W7-M),
Version 12.3(7)JA1, RELEASE SOFTWARE (fc1)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2005 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Thu 06-Oct-05 09:40 by evmiller
!
[...lines removed...]
!
```

Cisco IOS リリース指名についてのその他の情報は

<http://www.cisco.com/warp/public/620/1.html> で見つけることができます。

# 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

脆弱性を含んでいない製品は次のとおりです。

- Cisco IOSソフトウェアを実行していないアクセス ポイント
- Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.3(8)JA、12.3(8)JA1、または 12.3(8)JK 以外 Cisco IOS のバージョンを実行しているアクセス ポイント
- 無効インタフェース管理が付いているアクセス ポイント ( HTTP および HTTPS は両方保護します )
- Lightweight モードで動作するすべての Ciscoアクセスポイント

## 改訂履歴

リビジョン 1.2	2006- Sep- 20	12.3(8)JK を含むために Cisco 3200 シリーズ ワイヤレス モバイル インターフェイス カード ( WMIC ) が含まれる更新済脆弱性が存在する製品 セクションおよび更新済ソフトウェア バージョン および 修正 セクション。
リビジョン 1.1	2006- July- 06	ソフトウェア バージョン および 修正 セクションで変更される Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.3(11)JA 発行日。
リビジョン 1.0	2006 年 6 月 28 日	初回公開リリース

## 利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。